

チョウセンヤマニガナ

学名 *Lactuca raddeana* Maxim.

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山性高原の草原に生育地が散在しているが、個体数は多くない。草原開発や野焼きの停止、植林などによる環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 東亜温帯～亜寒帯
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現状	生育地の草原が開発されて減少している所が多い。
備考	大陸系遺存植物。九州は、分布の南限域にあたる。ヤマニガナ(var. <i>elata</i>)と類似し、しばしば混生している。